

取扱説明書

紙折機

< MODEL:P7200 > ver 1.0



◆機能向上のため、予告なしに仕様変更することがあります◆

 **martin yale** *International GmbH*

目 次

◆ 目 次.....	2
◆ 注意書.....	3
◆ 安全上のご注意.....	4
1. 外 観.....	5
1- 1) 外観と各部の名称.....	5
1- 2) 仕様.....	6
1- 3) お買い上げ品の確認.....	6
2. ご使用前の確認と注意事項.....	7
2- 1) 紙折りしてはいけない用紙の一例.....	7
2- 2) ご使用前の確認事項.....	7
3. ご使用前のセットアップ.....	8
3- 1) セットアップ（組立方法）.....	8
ペーパーガイドの取り付け.....	8
排紙トレイの組立.....	9
ペーパーガイドの位置あわせ.....	10
4. 折りテーブルについて.....	11
4- 1) 折りテーブルの調整（折り形の変更）.....	11
4- 2) 二つ折りの設定.....	12
4- 3) 折りテーブルの取り付け方法.....	12
5. 操作方法.....	13
5- 1) 断続の自動給紙.....	13
5- 2) 連続の自動給紙.....	13
5- 3) 複数枚の手動給紙.....	14
6. メンテナンス.....	14
6- 1) 紙詰まりの解消方法.....	14
6- 2) お手入れ方法.....	15
7. トラブルシューティング.....	15
7- 1) 紙詰まりが頻繁に発生する.....	15
7- 2) 用紙がスムーズに給紙されない.....	15
お問い合わせ先.....	15
8. 保証書の内容について.....	16

紙折機 注意書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、紙折機 P 7 2 0 0 をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
この注意書および取扱説明書には、安全にお使いいただくための注意と、本機を使用するために必要な取り扱い方法が載っています。本機をご使用になる前に、この注意書および取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくご使用くださるようお願いいたします。

警告・注意見出しについて

この注意書および取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただくために、絵表示付きの警告・注意見出しを使っています。これら見出しの付いた注意書きには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐための大事な注意が載っています。警告・注意見出しの付いた注意書および取扱説明書は、次のことを知らせています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
	注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負うか、または物的損害のみの発生が予想される内容を示しています

警 告

-  1. 100V以外の電圧では使用しないでください。火災となる危険性があります。
-  2. 電源コードに傷を付いたり、改造したりしないでください。感電、火災の恐れがあります。
-  3. 万一、発熱、発煙、異臭等の異常を発見したときは、すぐにアダプターの電源プラグ又は、本体側のプラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電や火災の恐れがあります。
-  4. 万一、異物（金属片、液体等）が本体の内部に入ったときは、すぐにアダプターの電源プラグ又は本体側のプラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の恐れがあります。
-  5. 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
-  6. 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体をしっかり持って抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、傷が付き、感電、火災の恐れがあります。

注 意

-  1. ご使用中、可動部分には、絶対に手を入れないでください。けがをすることがあります。
-  2. 用紙以外のものは、絶対に給紙トレイに挿入しないでください。故障の原因となります。
-  3. 分解したり、改造したりしないでください。けが、感電の恐れがあり、故障の原因となります。
-  4. 設置場所から本製品を移動するときは、必ず本体からプラグを抜いてください。接続されたまま移動すると、コードが傷つき、感電、火災の原因となることがあります。
-  5. 子供の手の届かない所に設置し、子供には使わせないでください。けがをすることがあります。
-  6. 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意

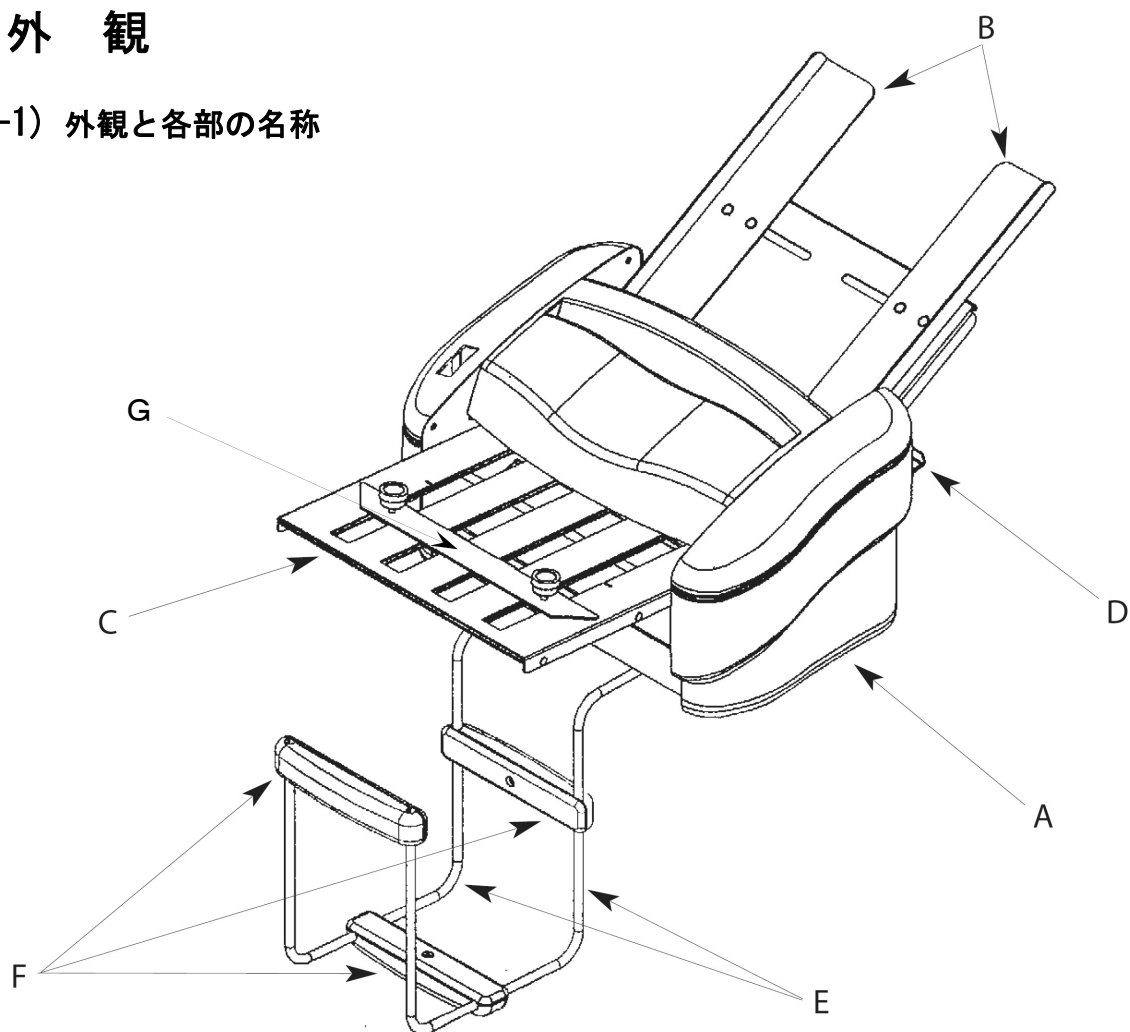
安全にお使いいただくために、ここに表示された注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害・財産への損失を未然に防ぐものですから、かならずお守りください。

 注意 この注意事項を守らなければ傷害を負うか、又は物的損害が生じる可能性があります。	
 この表示は、してはいけない「禁 止」内容です。	 この表示と、絵が表示されているマークは必ず実行していただく「強 制」内容です。

 注意	
	紙折り動作中は、フロント側・バック側のテーブルを絶対に外さないでください。けがの原因となります。
	紙折り動作中は、給紙トレイ内に手を絶対に入れないでください。けがの原因となります。
	紙折り動作中の回転可動している部分には、絶対に手を触れないでください。けがの原因となります。
	製品の分解・改造は絶対にしないでください。故障やけがの原因となることがあります。
	用紙以外のものは絶対に給紙しないでください。（ビニール系用紙含む・プラスチック板・アルミ板 等）製品内部に詰まって、損傷・破損、および故障の原因となることがあります。
	異物が付着している用紙は、絶対に挿入しないでください。（輪ゴム・粘着テープ・のり・封帯・クリップ 等）用紙の損傷・破損、製品の故障の原因となることがあります。
	損傷している用紙は、絶対に挿入しないでください。（切れ・破け・湿気を含む・濡れている 等）製品内部に詰まって、損傷・破損、および故障の原因となることがあります。
	全体にシワがある用紙・折り目が強い用紙・四隅が大きく折れ曲がった用紙は、そのまま紙折り機に挿入すると、本体内部に用紙が詰まり、故障の原因となります。
	新品の用紙の束を紙折りするときは、必ず十分によくほぐし、きちんと揃えてから挿入してください。ほぐさずに挿入すると、静電気などにより用紙がくっつき、詰まりや故障の原因となります。
	本体を清掃するときは、必ず本体からプラグを外してから行ってください。プラグを外さずに清掃を行うと、感電・けがの原因となり危険です。
	グラついたり、傾いたりしている不安定な場所に設置して使用しないでください。落下する危険があり、製品の損傷およびけがの原因となります。
	持ち運ぶときは、本体接続のプラグを必ず外し、製品正面から本体の底部を両手でしっかりと持って移動してください。本体底部を両手で持たずに持ち運ぶと、落下させる危険があり、けがおよび製品の損傷原因となります。

1. 外 観

1-1) 外観と各部の名称



各部の名称

No.	名 称	数量	内 容
A	紙折機（P7200）	1	紙折機の本体です。
B	ペーパーガイド	2	用紙幅の位置調整用ガイドです。
C	フロント側折りテーブル	1	前側の折り位置調整用テーブルです。
D	バック側折りテーブル	1	後側の折り位置調整用テーブルです。
E	ブラケット	2	折られた用紙を受け止めるブラケットです。
F	排紙トレイコネクター	3	ブラケットを組付けるためのコネクターです。
G	ペーパーストップ	2	折り形の位置調整用ガイドです。

1-2) 仕 様

製 品 名	紙 折 機
型 式	P 7 2 0 0
用 紙 の 紙 質	コピー紙・上質紙 (60~105g/m ²) 更紙／I b (16~28)
用 紙 サ イ ズ	A 4 (210×297mm)・レターサイズ (8.5×11 ^{1/4} インチ)
折 り の 種 類	4 種類 (内三つ折り・二つ折り・外三つ折り・内四つ折り)
自 動 給 紙 枚 数	最大 5 0 枚 (コピー用紙64g/m ²)
手 動 給 紙 枚 数	最大 3 枚の重ね折りが可能
処 理 速 度	約 6 5 枚／分 (自動給紙の連続排出時)
処 理 枚 数	自動給紙 (1枚ずつ)・手動給紙 (最大 3 枚重ねまで)
本 体 サ イ ズ	330mm (W) x570mm (D) x490mm (H) (排紙トレイ含む)
本 体 重 量	約 7. 7 kg
電 源	ACアダプター：入力AC 100v (50／60Hz) 0.4A 出力DC 24v 1000mA
消 費 電 力	40w

1-3) お買い上げ品の確認 (全ての付属品が揃っているか必ず確認してください)

紙折り機 本体 (1台)	電源コード付 アダプター (1個)	取扱説明書 (1冊)	保証書 (1枚)	ペーパーガイド (2個)
ガイドナット (4個)	ガイド スペーサー (4個)	排紙トレイ コネクター (3組)	排紙コネクター 組付用ネジ (6個)	排紙トレイ ブラケット (2本)

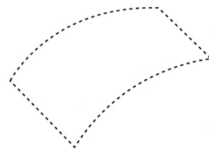
2. ご使用前の確認と注意事項

2-1) 紙折りしてはいけない用紙の一例

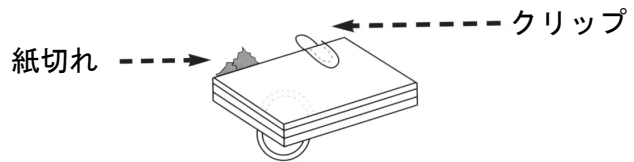
※下図のような用紙を紙折りすると、製品内部で用紙が詰まります。
また、製品が故障する恐れがありますので、絶対に紙折りしないでください。



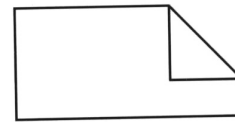
湿気を含んで、濡れている用紙
切れ・破れがある用紙



極端に曲がり癖の付いた用紙



紙切れやクリップが付いた用紙
その他、異物が付着している用紙



完全に折れ曲がった用紙

2-2) ご使用前の確認事項

1. 仕様上の用紙サイズ及び寸法以外のものは、紙折りしないでください。
※故障の原因となりますので、絶対に紙折りしないでください。
2. 全体にシワがある用紙、強く折れ目のある用紙、角が折れ曲がっている用紙は、必ずきれいに伸ばし、できるだけ平らにしてください。
※きれいに伸ばさずに紙折りすると、紙詰まりの原因となります。
3. 新品の用紙を紙折りするときは、必ず十分によくほぐし、四隅を揃えてください。
※新品の用紙の紙質によっては、静電気により、用紙同士がくっついた状態となる場合がありますので、そのまま紙折りすると2枚重になって送られて紙詰まりの原因となります。
4. 用紙は必ずきちんと四隅を揃えてから、給紙トレイにセットしてください。
※揃えず給紙トレイにセットすると、用紙が詰まる原因となります。
5. 用紙の幅に合わせて、必ずペーパーガイドを調整してください。
※合わせずにセットすると用紙が左右に動いて、紙詰まりの原因となります。
6. 用紙に異物が付いている場合は、かならず取り除いてください。
※紙詰まり、及び製品の故障の原因となります。

3. ご使用前のセットアップ

警告：紙折機のご使用準備が整うまで、電源アダプターは接続しないでください。
セットアップ中、ご使用中及び保守点検中は、手・髪の毛・衣服・宝飾品を可動部分に近づけないでください。紙折機のメンテナンスを行う際は、必ず電源アダプターのコネクターを本体から抜いて行ってください。

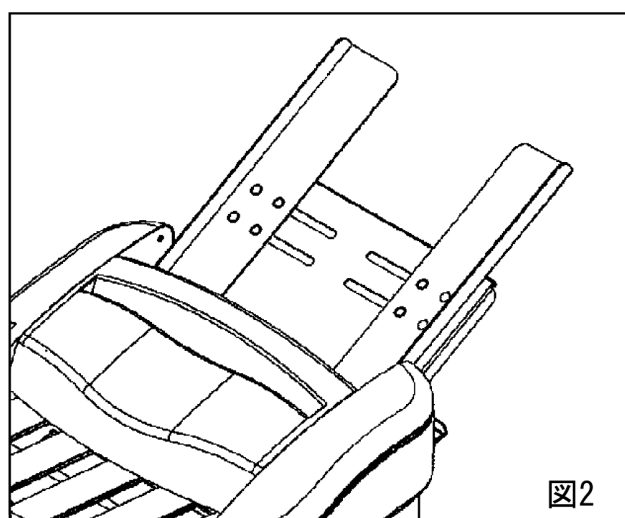
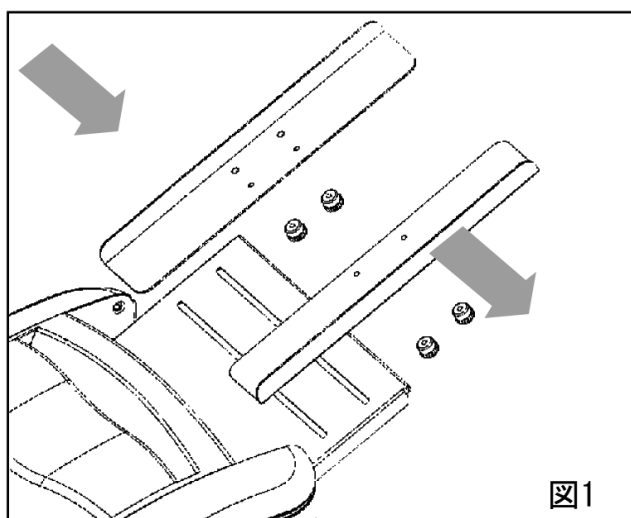
注意：製品本体の設置場所
しっかりとしたテーブルの端に設置してください。（表紙の製品写真を参照）
不安定なテーブル・人の出入りが多い場所のテーブル・製品周辺に物品が多いテーブルなどには置かないでください。

3-1) セットアップ：組立方法

◆ペーパーガイドの取り付け

※付属品のペーパーガイド左右を用意してください。

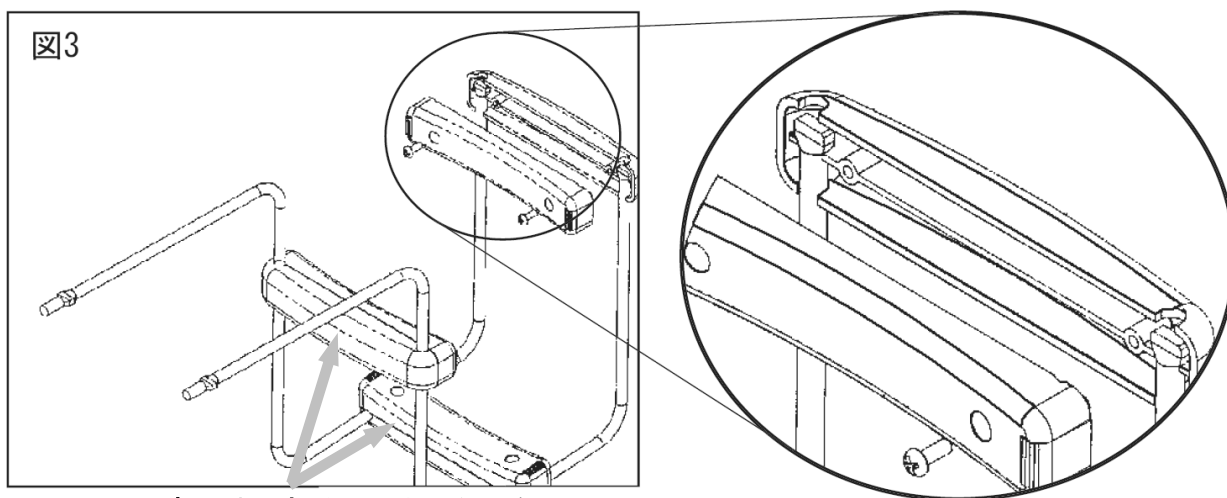
1. ペーパーガイド（B）からガイドナット（黒いつまみ）とガイドスペーサー（透明のスペーサー）を取り外してください。（計4個）
 2. ペーパーガイド左右を給紙トレイの溝に差し込みます。（図1）
 3. 給紙トレイに差し込んだペーパーガイドのピンが、給紙トレイ裏側に出ます。
 4. ペーパーガイドピンに透明のガイドスペーサーをはめ込みます。
※給紙トレイの裏側なので、指で押さえないと落下します。
 5. ガイドスペーサーを指で押さえながら、1箇所ずつガイドナットで締め付けてください。
※4箇所全てのガイドナットを取り付けてから締め付けてください。
- 注：ガイドスペーサーを取り付けないと、ペーパーガイドがスムーズに動きません。
必ず、ガイドスペーサーを取り付けてからガイドナットで締め付けてください。



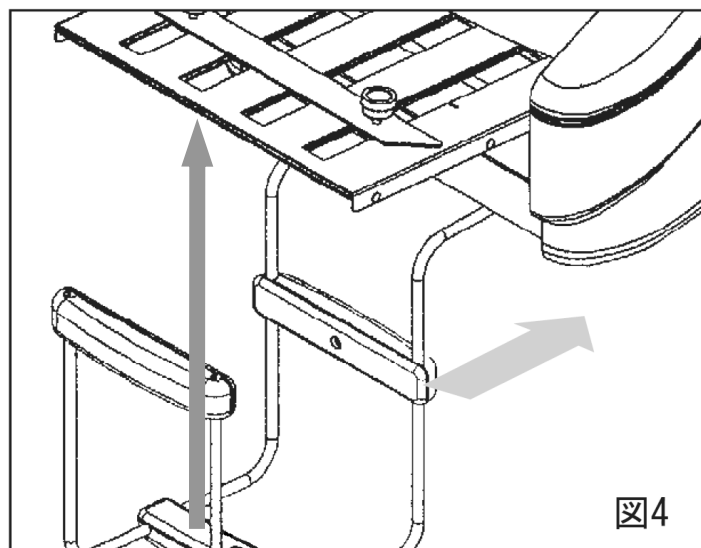
◆排紙トレイの組立 ※プラスドライバーを用意してください。

1. 付属品の排紙トレイコネクターセット（3組）、排紙コネクター組付用ネジ（6本）、排紙コネクターブラケット（2本）を用意してください。
2. (図3)のように中間部分のコネクター(2組)を最初に組み付けてください。
3. ブラケットの先端にコネクターをはめ込んで組み付けてください。(拡大図参照)
※コネクターのネジ締め付けは、最初は緩く仮締めし、ブラケットが左右対称の位置になるよう調整してから先端部分のコネクターを組み付け、最後に全てのネジをしっかりと締め付けてください。
4. コネクターを組み付けたら、(図4)のように排紙トレイを本体底面にあるL字のガイドに沿って差し込んでください。

拡大図



最初に中間部分のコネクターを組み付けてください。



中間部のコネクターがフロント側折りテーブルの先端部と同じ位置になるまで差し込んでください。

◆**ペーパーガイドの位置合わせ** ※付属の電源コード付きアダプターを用意してください。
重要：ペーパーガイドの位置合わせは、スムーズに用紙を給紙するための調整です。
必ず、下記の手順に従って位置合わせを行ってください。

1. 本体背面の丸型ソケットに、電源コード付きアダプターの丸型プラグを差し込みます。
電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、電源ONの状態になります。
(注：本製品には、電源スイッチはありません。)
2. 給紙テーブルの裏側にある4本の蝶ネジを緩め、ペーパーガイドの組付けを緩めます。
3. A4用紙：ペーパーガイド外側の端をA4と表示された直線マークに合わせます。
LS (レターサイズ)：ペーパーガイド内側の端をLSと表示された直線マークに合わせます。
4. 緩めた蝶ネジを軽く締め付けます。(注：強く締め付けしないでください。)
5. ペーパーガイドにA4用紙1枚をセットしてください。
6. 隙間調整とガイド調整を行います。
 - ①用紙の左右とペーパーガイド左右の隙間が僅かにある状態に調整します。
(隙間は、0.5mm. 程度に調整してください。)
 - a：隙間が狭すぎると、用紙がスムーズに給紙されず、給紙途中で引っかかり給紙が停止(紙詰まり)することがあります。
 - b：隙間が広すぎると(1.0mm. 以上)用紙が左右にズレて、きれいに紙折りされなくなります。(曲がり折り・シワ付き折りとなります。)
 - ②ガイド調整は、用紙が斜めに給紙されないようにするための調整を行います。
給紙トレイの本体側の中央に給紙ローラーがあります。
この給紙ローラーに対して出来るだけ直角になるようペーパーガイドを真っ直ぐにして位置調整を行ってください。
 - a：ペーパーガイドが曲がっていると、用紙が斜めに給紙され、曲がり折りや、シワ付き折りとなってしまいます。
 - b：極端に曲がっていた場合は、紙詰まりとなってしまいます。

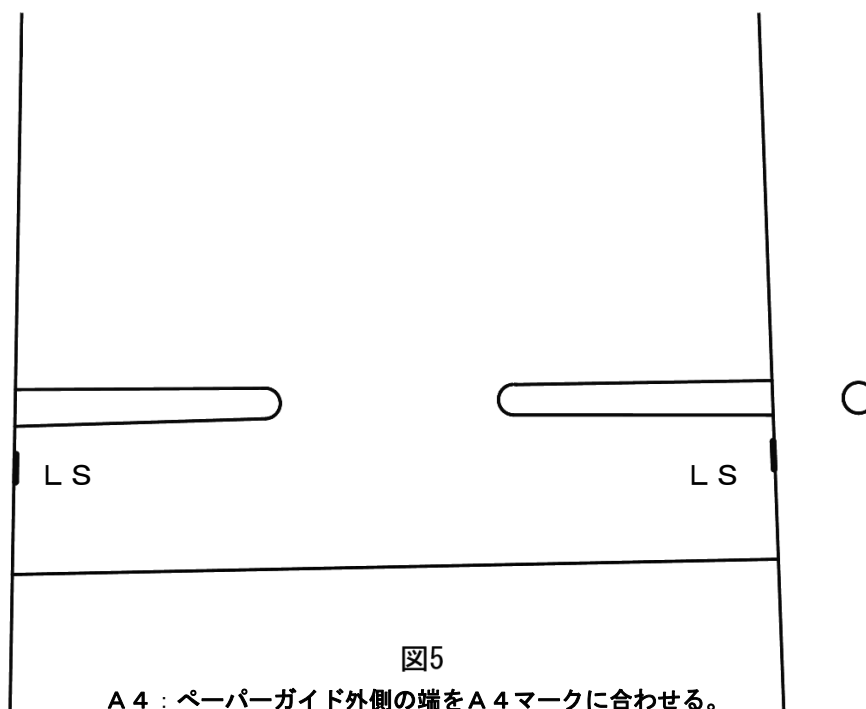


図5

A4：ペーパーガイド外側の端をA4マークに合わせる。
LS：ペーパーガイド内側の端をLSマークに合わせる。

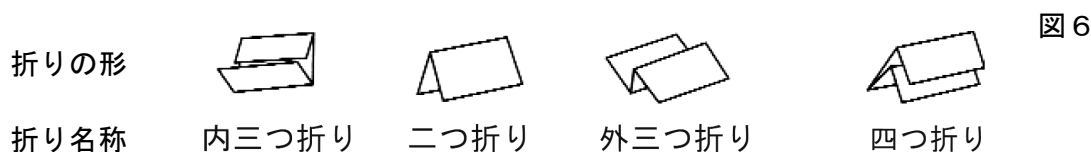
4. 折りテーブルについて

※フロント側及び、バック側の折りテーブルは、本体にセットされた状態です。
 ※工場出荷時の折りの形は、A 4 用紙の内三つ折りに設定されています。

4-1) 折りテーブルの調整（折り形の変更）

※工場出荷時設定（A 4 用紙：内三つ折り）以外の折り形に変更する場合は、
 （図 6）のアイコンを参照し、フロント側とバック側のペーパーストップを
 折り形が表示されているアイコンの▼マークに合わせて調整します。

※二つ折りを選択する場合は、4-2) 二つ折りの項目を参照してください。



1. 前後の折りテーブルにある、ペーパーストップの固定つまみ左右を緩めます。
2. 折りテーブルの目盛りに表示されているアイコンの中から、希望する折り形を選択します。（アイコンは、図 6 のように絵で表現されています。）
3. ペーパーストップを希望する折り形のアイコン横にある用紙サイズに対応する矢印位置まで移動します。（図 7 を参照）

※A 4 用紙は、目盛り右側（メートル目盛り）アイコンは水色。

※レターサイズ(8.5 × 11)は、目盛り左側（インチ目盛り）アイコンは黄色。

4. 希望する折り形の位置にペーパーストップを合わせ、つまみを締め付けます。

以上で、調整は終了です。

注：折られた用紙の端をきれいに合わせるには、ペーパーストップ位置の微調整が必要です。（試し折りをを行い微調整をしてください。）

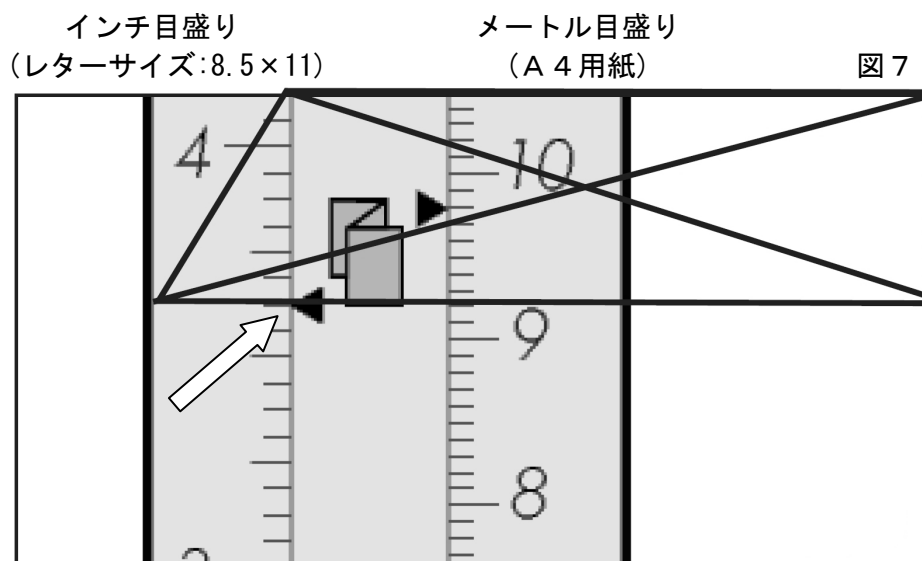
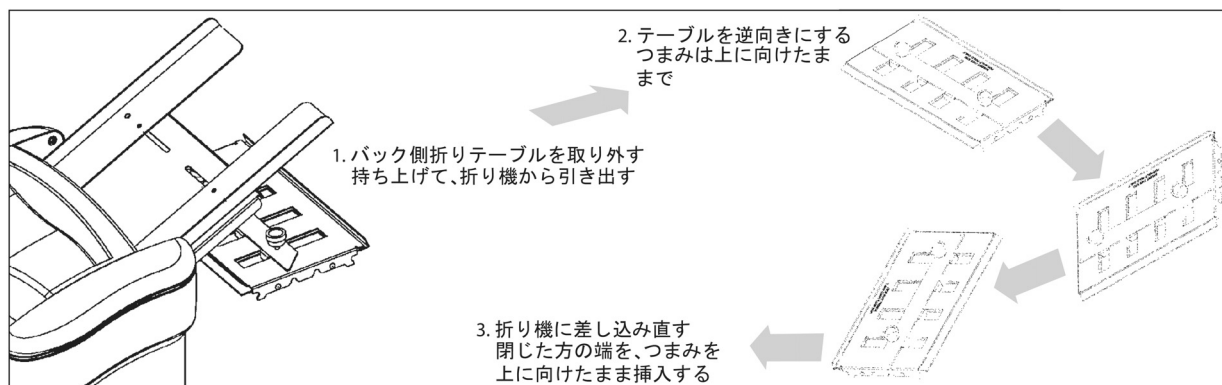


図 7 は、レターサイズ(8.5 × 11)用紙の外三つ折り設定例です。

4-2) 二つ折りの設定

1. 紙折機を二つ折りに設定する場合は、バック側折りテーブルを外します。
 2. 取り外したバック側テーブルを逆向きにして差し込みます。(図8参照)
 3. フロント側折りテーブルはそのまま、ペーパーストップの位置調整のみを行います。フロント側の二つ折りの目盛りに合わせてください。
- 以上で二つ折り設定は終了です。

図 8



4-3) 折りテーブルの取り付け方法

1. 二つ折りの選択や紙詰まりを取り除く際に、折りテーブルを取り外した場合、図9と図10のように折りテーブルを元の位置に戻してください。
2. フロント側、バック側の折りテーブル両方共に、テーブル下部に切り欠きがあります。折りテーブルを差し込む本体の奥に、2本の折りテーブルピン（左右）があるので切り欠き部を差し込みます。
3. 同様に左右にまたがる銀色のタイロッドの位置に合わせて、折りテーブル手前側の切り欠き部をタイロッドの上に載せてください。(図11参照)

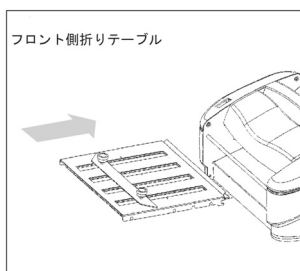


図 9

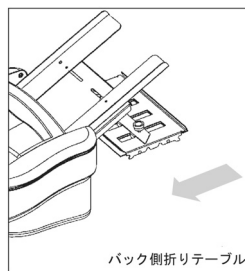


図 10

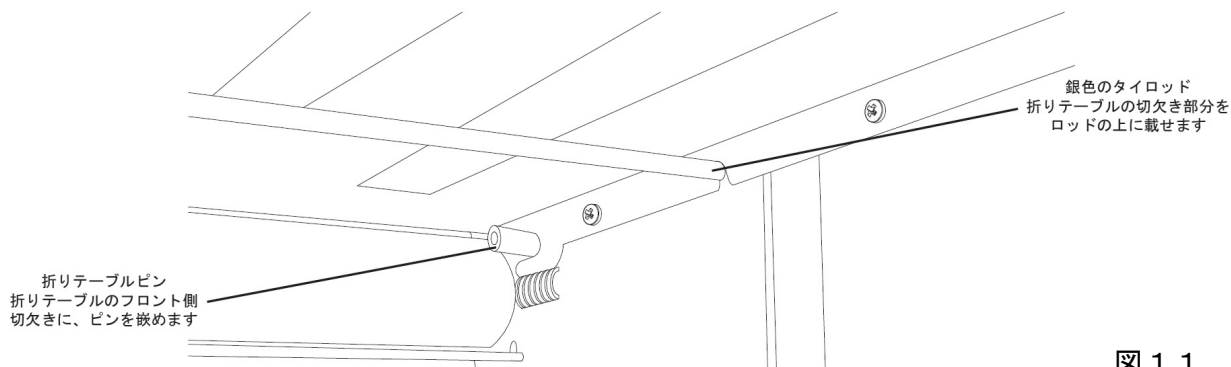


図 11

折テーブルを取り付けた状態を底面から見た図

5. 操作方法

5-1) 断続の自動給紙

※最大で50枚の用紙を給紙トレイにセットできます。

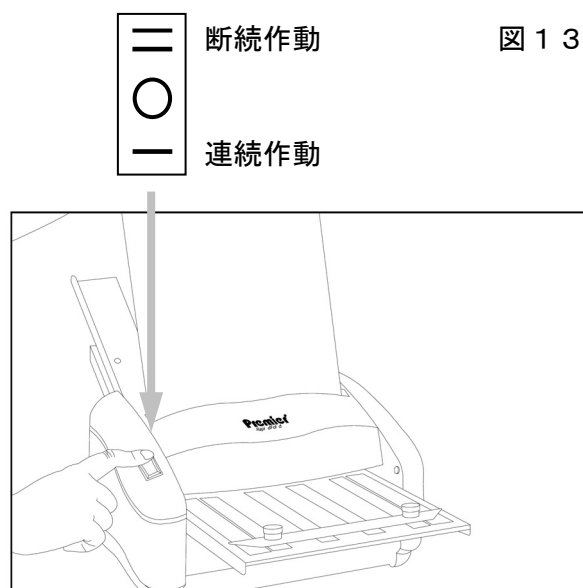
1. 用紙の束を両手で持ち、平らなテーブルなどの面で軽く上からトントンと叩き降ろして、用紙の四隅をきっちりと合わせてください。
2. 揃えた用紙を給紙トレイにセットします。(図12参照)
注1: 一番上の用紙を、水色の給紙ローラーに当たるようにセットしてください。
注2: 用紙をセットする際は、軽く押し入れるようにしてください。
強く押し込むと、スムーズに給紙されず、紙詰まりが発生します。
3. 作動スイッチを(| | :断続)の方向へ押し込みます。(図13参照)
4. スイッチを押し込んでいる時だけ、用紙が1枚ずつ給紙されます。
スイッチから指を離すと給紙作動は停止します。

5-2) 連続の自動給紙

1. 5-1)と同様に用紙を給紙トレイにセットしてください。
2. 作動スイッチを(| :連続)の方向へ押し込みます。
3. 作動スイッチから指を離しても、用紙が1枚ずつ連続で給紙され続けます。
注: 用紙が給紙トレイからなくなっても作動は停止しません。
4. 停止する場合は、作動スイッチの(| | :断続)を押して停止させてください。



作動スイッチ



5-3) 複数枚手動給紙

※ 一度に最高3枚まで重ねて折ることができます。

注：給紙トレイに用紙がセットされている場合は、全て取り除いてから操作してください。

1. 用紙の四隅を合わせ、きちんと揃えてください。
2. 紙折機の上面にある手動給紙スロットに用紙を差し込んでください。（図14参照）
3. 作動スイッチの（| |：断続）を押してください。

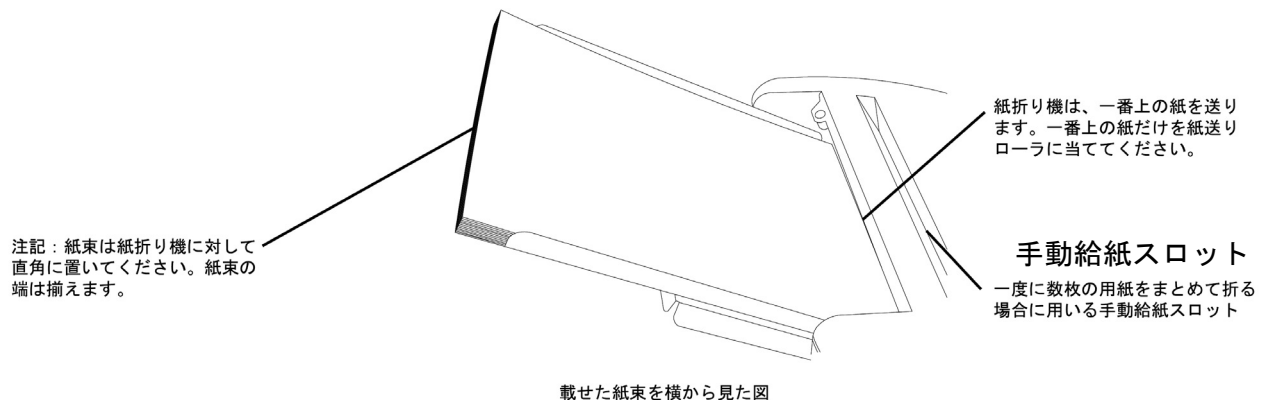
※折られた用紙が排出されるまで作動スイッチを押し続けてください。

※最大3枚までの重ね折りが出来ますが、1枚の厚さが厚い用紙の場合は、3枚重ねで折ると、用紙の表面にシワが出来ることがあります。

その際は、枚数を減らしてください。

※複数枚で紙折りしたときは、用紙の端が若干ズレる場合があります。

図 1 4



6. メンテナンス

6-1) 紙詰まりの解消方法

※用紙をきちんと揃えなかったり、ペーパーガイド及びペーパーストップがズレている場合や、2-1) 紙折りしてはいけない用紙を誤って給紙してしまった場合に用紙が本体内部で引っかかり、用紙詰まりが発生することがあります。

以下の手順で、用紙詰まりを解消してください。

1. 本体に接続されているプラグを抜きます。
2. フロント側又は、バック側の折りテーブルを外してください。
3. 詰まった用紙を引き出してください。
4. 詰まった用紙が引き出せない場合は、本体側面にある（本体正面から見て左側）丸穴にマイナスドライバーを差し込み、送りローラーを手動で回します。
5. 詰まった用紙を取り除けます。

※取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

6-2) お手入れ方法

※長期間のご使用で、給紙ローラーに用紙の紙粉や汚れが付着すると、用紙がスムーズに給紙されなくなり、紙詰まりの原因となりますので、定期的に給紙ローラーの表面を清掃してください。

1. 本体に接続されているプラグを抜いてください。
2. 乾いた布で、給紙ローラー表面に付着した紙粉や汚れを取り除いてください。
※市販されている、エアードスターなどで行うと紙粉がきれいに取り除けます。

7. トラブルシューティング

7-1) 紙詰まりが頻繁に発生する

- ①複数枚の手動給紙を行うときに、給紙トレイに用紙がセットされていないことを確認してください。用紙がセットされていると紙詰まりが発生します。
- ②ペーパーガイドの位置あわせ、フロント側折りテーブルとバック側の折りテーブルのペーパーストップ位置の設定を確認してください。
位置がズレていると、スムーズに給紙されない・折り位置が合わないなどで、紙詰まりが発生します。必ず全ての位置をきちんと調整してから作動させてください。
- ③用紙が仕様に記載されている用紙であることを確認してください。
※コピー紙・上質紙（60～105g/m²）更紙／I b（16～28）
仕様以外の用紙を無理に給紙させると紙詰まりが発生し、故障の原因となります。

7-2) 用紙がスムーズに給紙されない

- ①ペーパーガイドの隙間が狭すぎる。・・・隙間を調整してください。
- ②ペーパーストップが平行になっていない。・・・左右平行に調整してください。
- ③給紙スロットに用紙が斜めに差し込んでいる。・・・真っ直ぐに差し込んでください。
- ④用紙を差し込む前に作動スイッチを押している。・・・用紙を先にセットしてください。
- ⑤仕様に記載以外の用紙を給紙している。・・・仕様以外の用紙は給紙しないでください。故障の原因となります。
- ⑥給紙ローラーが汚れている。・・・ローラーを清掃してください。
- ⑦給紙ローラーが磨耗している。・・・販売店にご相談ください。

8. 保証書の内容について

<保証書>

- ◆よくお読みのうえ、必ず大切に保管してください。
 - ◆取り扱い販売店名・お買い上げ年月日・製造番号などの記入もれがないか、必ず確認してください。
- ※記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

<修理依頼について>

- ◆ご使用中に故障と思われる症状が発生した場合は、取扱説明書 15 ページに記載の、7. トラブルシューティングの内容をよくお読みいただき、症状が改善されない場合は、お買い求めになった販売店にご相談のうえ、修理の依頼をしてください。

<保証期間中の故障について>

- ◆取扱説明書にしたがった正常な使用状態で、保証期間中に故障が発生した場合は、保証書をご提示のうえ、お買い求めになった販売店にご依頼ください。保証書の《無料修理規定》にしたがって、修理をさせていただきます。

<保証期間を過ぎてからの修理について>

- ◆お客様のご要望により、お見積もりおよび、修理を有料にてお受けいたします。お見積もりのときに、修理をお受けしても製品の機能が維持できない場合は、ご相談のうえ、買い替えをお勧めすることがあります。

<その他>

- ◆本製品を譲渡、または貸し出される場合は、必ず取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ◆その他、本製品に関してのご不明な点は、お買い求めになった販売店、または下記の販売元までお問い合わせください。

お問い合わせ

販売元



株式会社

ニューコン工業

〒132-0021 東京都江戸川区中央1-8-15

TEL (03) 3655-6151 (代表) FAX (03) 3655-6201

URL <http://www.newkon.co.jp>

E-mail newkon@newkon.co.jp

パーフォレーター

パンチングマシン

シールプレス

NKP720020120223V1.2